

第60回技能五輪全国大会「和裁」職種

競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、競技時間内に付下げ女子用あわせ長着を仕立てなさい。

1 競技時間 9時間

2 注意事項

- (1) 統一材料を使用し、仕立て寸法規定に従うこと。
- (2) 特殊加工（ガード加工など）はしないこと。
- (3) 使用工具等は「使用工具等一覧表」で指定したもの以外は、使用してはならない。ただし、障害がある場合は、その程度に応じて必要とする工具等の使用を認めるので、事前に全国和裁着装団体連合会 03-3816-1858 に連絡すること。当日の申告は不可とする。
- (4) 競技中は、工具等の貸し借りを禁止する。
- (5) 競技開始前に、針に糸を通してはならない。
- (6) 作品をたたみ上げた時点をもって作業終了とする。
- (7) 競技終了時刻になった旨を知らされた場合は、直ちに作業をやめ、競技委員の指示に従うこと。
- (8) 作業時の服装等は、作業に適したものであること。
- (9) 競技エリアの絨毯内は土足厳禁とする。
- (10) 以上の注意事項に基づき、怪我のないよう十分注意して作業をすること。

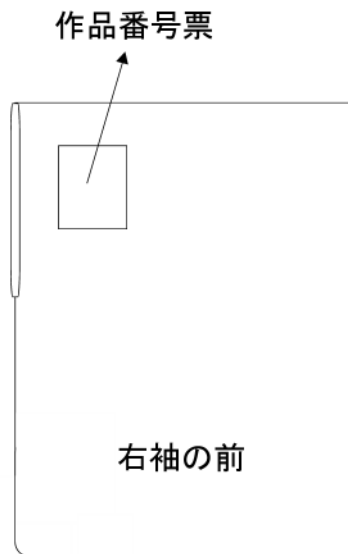
3 仕 様

・仕立て寸法	身丈・・・背から4尺2寸
	袖丈・・・1尺3寸
	衿・・・1尺7寸5分
	袖巾・・・9寸
	袖付・・・6寸
	袖口・・・6寸
	後巾・・・8寸
	前巾・・・6寸5分
	抱巾・・・6寸5分
	衽巾・・・4寸
	合襦巾・・・3寸8分
	繰越・・・5分
	襦下・・・2尺1寸
	その他の寸法は標準寸法に準ずる

- (1) 事前に縫い上げておく箇所は、次のとおりとする。
右そで。えり先布と裏おくみのこはぎ。裏身ごろは、胴裏、裾回し(八掛け)、胴はぎの縫製まで。(胴裏の背縫いは自由とする)
- (2) 競技会場で行うものは、次のとおりとする。
左そで。表身ごろ。裏身ごろの前幅のしるし付け(へら付け)をし、おくみ付けから仕上がりまで。※事前に身ごろに前幅のしるし付け(へら付け)をしてはいけない。
- (3) えりは、表裏別縫いとし、えり先は本止めとすること。ただし、えり先縫い代を表裏のおくみではさむ。
- (4) 共えりは、別がけとする。ただし、くけは束ぐけでもよい。
- (5) そで口布は、回しがけとする。
※事前に口布を付けるためのしるし付け(へら付け)をしてきてはいけない。
- (6) 共えり及びつま下(えり下)のしつけは、事前に行ってきてはいけない。
- (7) しつけの種類は自由とする。
- (8) 三つえり芯の長さは8寸(30cm)以内とする
※三つえり芯を事前に付けてきてはいけない。
- (9) 競技終了後のおもしはしてはいけない。
- (10) 裏えり、胴はぎの縫込みは、止めても止めなくてもよい。ただし、他の縫込み(裾も含む)は止めてはいけない。
- (11) 耳がつれる理由での切り込みはよしとする。ただし、耳を切り落としてはいけない。切り込みの深さは1分5厘までとする。

注:原則的にすべての箇所についての幅のしるし付け(へら・チャコ等)、折り(スジ等)はしてきてはいけない。(肩山の折、袖付けの折、裾の折は可)
表裏のおくみ付けのしるし、えりの流れのしるしは可とする。ただし、しるしとしるしの間隔は6cm以上空けること。

作品番号票は、下図に示す位置に取れないように縫い付けること。ただし、縫い付ける時間は競技時間外とする。



4 支給材料

付下げ表地・八掛・胴裏

5 採点項目等

採 点 項 目		配 点
作品採点	仕 様 誤 り	100
	で き ば え	
作 業 態 度		

公表**第60回技能五輪全国大会「和裁」職種****持参工具等一覧表**

選手が持参するもの(数量欄は、特にことわりのない限り選手1人当たりの数量を示す)。

区分	品名	規格	数量	備考
材 料	表地	事前に配付した材料を持参のこと	1枚分	仕様どおりに事前に裁断縫製したもの
	裏地	事前に配付した材料を持参のこと	1枚分	仕様どおりに事前に裁断縫製したもの(通し裏は使用できない)
	三つえり芯		適宜	
	すそ芯又はふきわた		適宜	
	糸		適宜	
工具	コテ釜 コテ(2本使用可)		1台 1、2本	

注意 その他、必要だと思われる裁縫用具一式を各自持参すること。ただし、「アイロン(ベビーアイロンを含む)」、「霧吹き等他人に迷惑をかける恐れのあるもの」の持込みは禁止する。

公表**第60回技能五輪全国大会「和裁」職種****競技会場設備基準**

競技会場に準備してあるものは、以下のとおり。

品名	規格	数量	備考
裁ち板	180cm×45cm×4.2cm	1枚／1人	足台の高さは15cmないし25cmである。
作品番号票	10cm×5cm	1枚／1人	
座布団		1枚／1人	

公表**第60回技能五輪全国大会「和裁」職種****採点基準**

1. 採点項目等

採点項目		配点
作品採点	仕様誤り	100
	できばえ	
作業態度		

イ) 仕様誤り

- 衿先が本止めになっていないもの
- 袖口布が回しがけになっていないもの
- 三つ衿芯の入っていないもの
- 白針になっているもの 1目につき減点
- 引き糸が付いている場合、1箇所につき減点

ロ) できばえ

● 袖口・口下・丸み・袖丈・袖巾・振り	10点
● 袖付け・身八つ口・衿のつりあい	10点
● 上前のおくみ付け（模様合わせ）	10点
● 表・裏直線縫い 身巾のつり合い	10点
● 身頃の立てとじ かぶり	10点
● つま・裾ぶき	10点
● つま下	10点
● 表衿つけ・共衿つけ	10点
● 裏衿つけ・衿とじ	10点
● 衿くけ・衿先	10点

ハ) 作業態度（不安全行動）

2. 採点方法

- イ) 競技委員の水準調整として、2枚以上の作品を見て水準の統一を図る。
- ロ) 競技委員が各項目を採点し、合計点の高いものから順位を決定する。

3. 失格要件

- イ) 作品に残針があった場合
- ロ) 左右の袖付け違い
- ハ) 未完成品

◆第60回技能五輪全国大会「和裁」職種 Q&A

No.	質問	回答
1	<p>衿肩明きのへらと、衿肩明きと衽下がりまでの衿付けのへらは、事前に準備してもよろしいでしょうか？</p>	<p>衿肩明きのへら、衿肩明きと衽下がりまでの衿付けのへら、ともに事前に準備していただいてもかまいません。ただし、へらとへらの間隔は6cm以上空けてください。</p>
2	<p>3 仕様の注 肩山の折は胴裏の袖付けの間の筋を付けてよいという事でしょうか。</p>	<p>その通りです。</p>
3	<p>3 仕様の注 袖付けの折は右袖の出来上がり幅で筋を付けてよい、また裾の折れ筋は表地の出来上がりで筋を付けてよいという事でしょうか。</p>	<p>その通りです。</p>